

令和 7 年度水産研究・教育機構 開発調査センター成果報告会の開催について

水産業を取り巻く環境、即ち海洋環境、水産資源、労働力、消費者ニーズなどが変化するなか、水産業にはこのような環境変化への対応が求められています。国立研究開発法人水産研究・教育機構 開発調査センターは、海洋水産資源の開発及び利用の合理化と近年の環境変化への対応のため、民間の漁船を利用した操業試験や漁獲物の販売試験を通じた新たな技術の実証事業を展開しています。

本年度は、水産研究・教育機構の第 5 期中長期計画（令和 3～7 年度）の最終年度にあたるため、これまでの取組を振り返るとともに、実証事業の 5 年間の成果からトピックをご報告いたします。

タイトル：令和 7 年度海洋水産資源開発事業成果報告会 ～水産業を取り巻く環境変化への対応～

日 時：令和 7 年 12 月 2 日（火） 13:00-17:20 （受付：12:00～）

場 所：東京海洋大学品川キャンパス楽水会館大会議室 （東京都港区港南 4-5-7）

内 容：

基調講演 水産業を取り巻く環境変化への対応 開発調査センターによる

これまでの取組と今後への期待

水産庁長官 藤田 仁司

序 言 開発調査センターのあゆみ

所長 山下 秀幸

報告 1 水産業を取り巻く昨今の環境変動と対応状況

実証化企画室 貞安 一廣

報告 2 収益性向上に向けた東シナ海操業の最適化（大中型まき網漁業）

漁業第一 G 神村 裕之

報告 3 経営安定化に向けた大和堆ドスイカ資源の活用（沖合底びき網漁業）

漁業第三 G 日高 浩一

報告 4 生産性向上に向けたスマート化（遠洋かつお釣り漁業）

漁業第二 G 木村 拓人

報告 5 経営改善に向けた人工種苗の周年供給システムの構築（ブリ養殖）

養殖システム G 北野 載

報告 6 新たな水産業の形を創造する実証調査

実証化企画室 溝口 弘泰

参加登録方法

下記 URL もしくは右の二次元コードよりお申し込みください。

令和 7 年度海洋水産資源開発事業成果報告会 参加申し込みフォーム

<https://forms.office.com/r/AL3ZBtMSh9>

※申し込み締め切り：令和 7 年 11 月 25 日（火）

※報告会終了後に有志による意見交換会（会費制）を行います。



本件照会先：国立研究開発法人 水産研究・教育機構 開発調査センター 藤田 薫

TEL:045-277-0210 内線3109 test_kaihatu@fra.go.jp（◎を@に換えて下さい）